

提 供 日 令和8年9月14日

タイトル 遙か古代の文様と輝きを再び！百済ゆかりの金銅製帯金具を特別公開！

担 当 スポーツ・文化観光部 静岡県埋蔵文化財センター調査課

連 絡 先 静岡県埋蔵文化財センター調査課

TEL 054-385-5500



幸福度日本一の静岡県

遙か古代の文様と輝きを再び！百済ゆかりの金銅製帯金具を特別公開！

令和7年度に富士市から委託され保存処理を実施した富士市須津千人塚古墳（すどせん にんづかこふん）出土の金銅製帯金具を特別公開します。

1 概要

◆会場 静岡県埋蔵文化財センター（静岡市清水区蒲原 5300-5）

◆期間 令和8年9月19日（土）～9月30日（水） 午前9時30分～午後4時30分
（ただし、9月19日を除き、土・日・祝日は見学できません）

◆観覧料 無料

2 報道関係者対象の内覧会

一般公開に先立ち、報道関係者対象の内覧会を次のとおり開催します。参加を希望される方は、別紙「取材申込書」を9月16日（水）正午までに下記の間合せ先に提出してください（メール又はFAX）。

◆日時 令和8年9月18日（金） 午後1時30分～

◆場所 静岡県埋蔵文化財センター（静岡市清水区蒲原 5300-5）

3 問合せ先

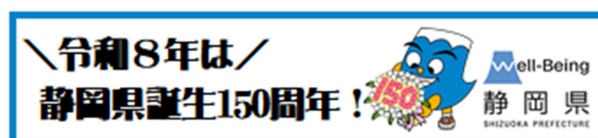
静岡県埋蔵文化財センター調査課

◆電話 054-385-5500 ◆FAX 054-385-5506

◆E-mail maibun-tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

【参考】

- （1）富士市須津千人塚古墳：7世紀中頃に愛鷹山南麓に築かれた直径約21mの円墳。約200基からなる須津古墳群を代表する古墳。
- （2）出土の経緯：史跡整備に先立つ発掘調査により出土。
- （3）金銅製帯金具：帯（ベルト）に付けた金具。帯金具の形状や彫られた文様から朝鮮半島百済で生産され、日本にもたらされたと想定されるもので、7世紀の国際交流を示す資料として、また千人塚古墳の被葬者の性格を考える上で重要な資料である。7世紀代の帯金具がこれほど良好な保存状態で発見された例は全国でも初めてである。



須津千人塚 朝鮮半島・百濟ゆかりの帯金具を発見

埋蔵文化財ニュース

2026年(令和8年)
5月7日(第17号)
富士市教育委員会
文化財課
富士市埋蔵文化財調査室

保存処理でよみがえった 遥か古代の文様と輝き

昨年十一月に公開が始まった市指定史跡の須津千人塚古墳において、関係者も予想しなかった新事実が判明した。令和六年に実施した整備工事に伴う発掘調査で出土していた金属製品について、令和七年度に静岡県埋蔵文化財センターにおいて保存処理を実施したところ、朝鮮半島・百濟の技術者によって製作されたとみられる金銅製の帯金具

(ベルトの金具)の存在が明らかになった。帯金具の表面には、仙人が住むと言われた山々(三神山)や鳳凰、鬼神といった特徴的で美しいデザインが非常に丁寧に彫り込まれており、六世紀後半から七世紀前半の朝鮮半島、とりわけサビ期百濟の技術や文化を色濃く伝える。百濟由来の同時期の帯金具の出土は、国内では初めて。



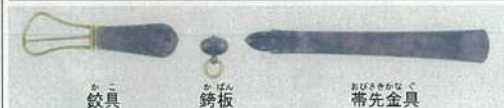
保存処理によって輝きを取り戻した金銅製帯金具



須津千人塚古墳は昨年11月から一般公開がはじまっている(株式会社フジヤマ撮影)

聖徳太子の一族 との関係性示す?

当時の倭では、法隆寺を建立した聖徳太子(厩戸王)の下に、鞍作鳥などの百濟系技術者が集まっていた。駿河東部地域は、聖徳太子の一族である上宮王家が従えた、壬生部や膳大伴部とよばれる人々が居住していたことが推定されており、千人塚古墳に葬られた人物も、上宮王家のネットワークを通じて帯金具を入手した可能性がある。



【参考写真】朝鮮三国時代の帯金具の例 [東京国立博物館蔵/ColBase (https://colbase.nich.go.jp)]



【参考写真】左：帯を着用した鬼神が描かれたタイル [韓国・扶余 嶺岩面、東京国立博物館蔵/ColBase (https://colbase.nich.go.jp)]
右：三神山が表現された冠装飾 [韓国・扶余 陵山里中上塚、国立中央博物館蔵/国立中央博物館 HP]



飛鳥時代の国際情勢とサビ(泗比)期百濟の位置



金銅製帯金具と文様の模式図

※文様の解釈は本紙発行時のもの

申込期限 令和8年9月16日（水）正午

百済ゆかりの金銅製帯金具特別公開 内覧会

取材申込書

会社名			
取材者名	代表者		
	同行者		
連絡先電話番号			
メールアドレス			
人数（合計）	名（代表者様含む）		
テレビカメラの有無	あり（ 台） ・ なし		
駐車場の利用	あり ・ なし		

【申込先】

静岡県埋蔵文化財センター調査課

FAX : 054-385-5506

E-mail : maibun-tyosa@pref.shizuoka.lg.jp